

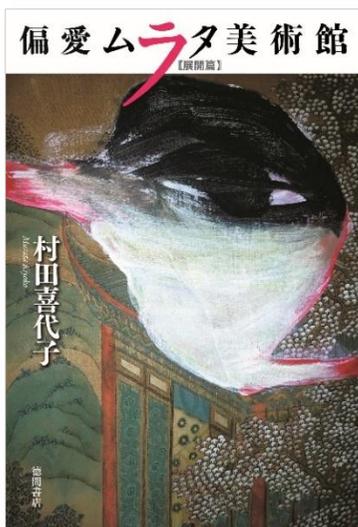
【徳間書店】2020年10月刊—書籍のご案内

絵画を、言葉で記す。それは始めからかなわぬ恋文のようなもの。
芥川賞作家が独特の着眼点で絵画を読み解く“痛快美術エッセイ”

偏愛ムラタ美術館

【展開篇】

村田喜代子



カバー画 野見山暁治 カバーデザイン 毛利一枝

2020年10月9日発売 ISBN978-4-19-865054-4

四六判並製/224P/オールカラー

定価：3080円（本体2800円+税）

村田さんの言葉は、魔法の呪文。
絵のなかに入っていくような、わくわくする気持ちを味わえます。

三浦しをん

内容

「江戸の嫌われ者・(長沢) 芦雪と、ローマのならず者・カラバッジョを重ね合わせると、絵画というものが抱えた魂の世界が覗けるようだ」(本文より)

作家の鋭い感性が見透す絵画の奥の、奥の世界。クリムト、ホックニー、ワイエス、芦雪、王塚古墳、北斎、藤田嗣治、野見山暁治、黒田征太郎、会田誠、つげ義春の妻・藤原マキ、甲斐大策など、偏愛する画家への、かなわぬ恋文のように。熱き思いを痛快に綴る！

著者プロフィール

1945年、福岡県生まれ。1987年「鍋の中」で芥川賞を受賞。1990年『白い山』で女流文学賞、1992年『真夜中の自転車』で平林たい子文学賞、1997年『蟹女』で紫式部文学賞、1998年『望潮』で川端康成文学賞、1999年『龍秘御天歌』で芸術選奨文部大臣賞、2010年『故郷のわが家』で野間文芸賞、2014年『ゆうじょう』で読売文学賞、2019年『飛族』で谷崎潤一郎賞を受賞。

ほかに、『花野』『龍秘御天歌』『八幡炎炎記』『屋根屋』『故郷のわが家』『エリザベスの友達』など著書多数。

本書は『偏愛ムラタ美術館』(2009年)、『偏愛ムラタ美術館 発掘篇』(2012年、ともに平凡社)に続く美術エッセイ第三弾。

ご高覧、ご高評のほどお願いいたします。読者プレゼント、著者取材等もお気軽にご相談ください。

なお、お取り上げくださる際にはお手数ですが下記までご連絡いただけますと幸いです。

株式会社徳間書店 文芸編集部 国田昌子

〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア

TEL.03-5403-4349 FAX.03-5403-4358 E-mail: kunita@shoten.tokuma.com

